

第五十二回帝國議會

院 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去
外一件委員會會議錄(速)第二回

付託議案
王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家
ヲ去リ王公族ニ入リタル者ノ戸籍等ニ關スル
法律案(政府提出、貴族院送付)
不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院
送付)

會議

昭和二年三月十七日(木曜日)午前十一
時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理理事 神村 吉郎君

理事 菅原 英伍君

西脇 晋君 山下 谷次君

原 夫次郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法省民事局長 池田寅二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及
内地ノ家ヲ去リ王公族ニ入リタル者
ノ戸籍等ニ關スル法律案(政府提出、
貴族院送付)

不動産登記法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

○神村委員長代理 是ヨリ開會致シマ
ス

○原委員 昨日ニ引續イテ御尋ネ致シ
タイト思ヒマス、第二條ノ實家ニ復歸シ
タル者ハト云フ、實家ニ復歸シタル者
ハ即チ一般臣民籍ノ實家デアリマスカ
ラ、假ニ第一條ガ民法ノ除外例ヲ爲ス
モノデアルカラ、斯ウ云フ規定ガアッタ
トシテモ、第二條ノ規定ハ其臣民籍ノ
一般國民ト同一ナル取扱ヲ受ケル所ノ
家ニ復歸シタル場合ニ於テハ、是ハ當

然斯ウ云フ規定ヲ設ケナクトモ、内地
若クハ朝鮮其他ノ法令ニ依テ此届出ヲ
爲サシテ差支ナイ譯デアリマスガ、特
段ノ規定ヲ設ケタノハドウ云フ意味デ
アルカ、其點ヲ伺ッテ置キマス

リマス、デアリマスカラ全ク戸籍法ノ
方ニアリマセヌ事柄ガ、茲ニ一ツ實體
的ニ六十八條ニ規定セラレタノデアリ
マスカラ、其届出ノ規定ヲ茲ニ設クル
コトニナッタ次第デアリマス、ソレカラ

場合ニハ、復歸スベキ實家ヲ書カシメ、
實家ナクシテ一家ヲ創立スル場合ニ
ハ、其創立スベキ家ヲ書カシメ、又實家
ヲ再興スル場合ニ於テハ、再興スベキ
家ヲ書カシメル、斯ウ云フヤウナ手續
ヲ執ッテ居リマス、即チ離婚届ニ併セテ
其事ヲ書カシメテ、其離婚届ヲ受理シ
テ離婚ニ相成リマスレバ、其アトハ戸
籍吏ノ手續トシテ、復歸ノ手續ヲ爲シ、
若クハ創立ノ手續ヲ爲スト云フコトニ
相成ッテ居ルノデアリマス、所ガ王公家
軌範ニ依リマスレバ、離婚ノ手續ガ左
様デハアリマセヌデ、即チ勅許ニ依テ
離婚ニナルト云フコトニナリマシテ、
離婚届ト云フモノガナイノデアリマ
ス、デアリマスカラ戸籍法ノ手續ニ依
ルコトガ出來ナイ、即チ離婚届書ニ復
籍、再興、創立等ノ事ヲ同時ニヤラシ
メルト云フコトガ出來ナイノデアリマ
ス、故ニ特別ノ茲ニ規定ヲ置キマシ
テ、一箇月以内ニ其届出ヲ爲サシムル
ト云フコトニシタ次第デアリマス、本
案ノ第二條ハ其通りデアリマスガ、三
條、四條、五條等モ矢張大體サウ云フヤ
ウナ必要ニ基キマシテ戸籍法ノ規定ヲ
補充致シタ次第デアリマス

○池田政府委員 其點ハ御尤ノ點デア
リマシテ或ハ總體ニモ關係致シマスカ
ラ御説明申上ゲテ置ク方ガ宜カッタカ
ト考ヘマスガ、御質問ガアリマスカラ
御答申上ゲマス、王公家軌範ノ六十八
條ニ依テ實家ニ復歸シマス場合ト云
フノハ、其軌範ノ規定ニ依リマス「婚
嫁ニ因リ王公族ニ入リタル女子其ノ夫
ヲ亡ヒタルトキハ——實家ニ復歸スル
コトヲ得」ト云フコトニナッテ居リマ
ス、是ハ民法ニハナイコトデアリマシ
テ、御承知ノヤウニ民法ニ依リマスレ
バ嫁入りマシタ女子ガ夫ヲ亡ヒマシタ
場合ニ於キマシテモ、其儘其婚嫁ニ留
ツテ居ルノデアリマシテ、實家ニ復歸
スルト云フコトハナイノデゴザイマ
ス、ソレガ王公家軌範ノ六十八條ニ依
リマシテ、特別ノ規定ガ出來テ居リマ
ス、即チ王公族ハ公ノ許可ヲ得テ實家ニ
復歸スル、但シ妃ナルトキハ勅許ヲ受
クベシト云フコトニナリマシテ、即チ
王公ノ許可又ハ勅許ヲ受ケテ實家ニ戻
ツテ參ル、斯ウ云フ風ニ相成ルノデア

リマス、所ガ婚嫁ニ因リテ王公族ニ入
リマス、所ガ婚嫁ニ因リテ王公族ニ入
リタル女子ハ即チ王公族ニナリマスカ
ラ其王公族ガ離縁致シマシタ場合ニ、
何レノ家ニ復歸スルカト云フコトハ、
是ハ民法等ノ規定ニ依ルベキモノニア
ラズト致シマシテ、即チ王公族ニ關ス
ル事トシテ、百二十六條ニ特別ノ規定
ヲ置カレタ事ト思ヒマス、所ガ法ノ趣
旨ハ大體民法ト同ジデアリマスケレド
モ、離婚ノ手續ト云フモノガ民法ニ於
ケルモノトハ違ッテ居リマシテ、即チ民
法ニ於キマシテハ離婚届出ニ依テ離婚
ニ相成ルノデアリマス、デアリマスカ
ラ戸籍法ハソレヲ受ケテ、離婚ノ届出
書ニ同時ニ實家ガアッテ之ニ復歸スル

○原委員 サウスルト結局離婚若クハ
離縁ニ依テ實家ニ復歸スル其事ガ、民

法ノ離婚届ニ依テ出来ナイト云フノハ、王公家軌範ニ依テ勅許ヲ得ルコトガ規定シテアルカラ、ソレデ特別ニ斯ウ云フ規定ヲ設クル必要ガアルト斯ウ云フ御答辯デアリマスガ、併シ勅許ヲ經ルト云フコトハ、王公家ニ關スル關係ガアルカラ、勅許ト云フコトガアルト致シテモ、其許可以外ニ於テハ離婚縁ト云フ實質ノ問題ガアルノデアリマテカラ、矢張サウ云フ場合ニ於テハ、王公家軌範ノ趣意カラ云フテモ、普通ノ民法ノ規定ニ從テ離婚届ヲ添付スルト云フコトデ一向差支ナイヤウデアリマスガ、斯ウ云フ特別ノ規定ヲ設ケタ其根本義如何、斯ウ云フ問題ヲ御尋ネ致シテ置キマス

○池田政府委員 御質問ニ依リマシテ更ニ説明ヲ補充致シタイト思ヒマス、即チ勅許ニ依リ離婚ニ相成ルト云フコトヲ申シマシタガ、一番必要ナル點ハ離婚届ト云フモノノ手續ニ依ラズシテ離婚ニナルカラ、離婚届書ト云フモノガナイト云フコトガ、民法ト最モ違ッダ點デアリマシテ、其相違カラ致シマシテ、戸籍法ハ離婚届ト云フモノヲ必要トスル民法ノ規定ヲ前提ト致シマシタ規定ニナッテ居ルノデアリマス、所ガ王公家軌範ニ依ル離婚ハ、勅許ガアリマスレバソレデ離婚ニナルノデアリマシテ、離婚届ト云フモノハ必要ハナイ、離婚届ト云フモノハナイ、斯ウ云フコトデス、實體デハソレダケ異ッテ居リマ

ス、ソコデドウシテモ手續モソレニ從ツテ變ヘテ行ク必要ガアリマシテ二條ヲ拵ヘタ、斯ウ云フコトデアリマス

○原委員 其點ガ疑ノ點デスガ、假令王公族ニ致シテモ、其離婚届ヲ出サセテ、一般ノ民法ノ支配ヲ受ケテ離婚届ヲ出シテサウシテ、戸籍ノ變更ヲスルト云フコトニシテ毫モ差支ノナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、但シ王公家軌範ニ依ルト云フト、離婚届ヲ出ス、復籍スル場合ニ於テハ勅許ヲ要スルト云フノハ、是ハ王公家軌範ノ特別ナル規定デアッテ、何モ玆ニ届出ニソレヲ關聯サス必要モナイヤウニ思フノデアリマス、謂ハバソレハ内部關係ノヤウナ手續デアッテ、例ヘバ普通一般ニ會社ヲ創立スル場合ニ於テモ、色々ナ認可ヲ要スル場合ガアレバ、其認可ヲ俟ッテ登記シナケレバナラス、併シ登記其モノニハ事項ヲ示シテ登記サヘスレバ宜シイト云フコトデ、此戸籍ノ方面ニ向ッテハ普通一般ノ民法ニ從テモ一向差支ナイヤウニ思フノデアリマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

○池田政府委員 離婚ノ——婚姻モサウデアリマスガ、離婚ノ形式ト云フモノハ、王公族關係ノモノニ付キマシテハ王公家軌範ニ規定セラレタノデアリマシテ、民法トハ別ニナッテ居リマス、異ッテ居ルノデゴザイマス、民法ニ於キマシテハ申上ゲル迄モナク、届出ニ依テ離婚ニ相成ルノデアリマス、即チ民法ニ依リマシテ届出ガ離婚ノ形式的要件ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソコデ戸籍法ハ其民法タル實體法ヲ受ケマシテ、例ヘバ今ノ問題デ申セバ、第四百條ニハ「離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トアリマシテ、色々書キマシタ中ニ、例ヘバ「婚家ヲ去ル者ノ復籍スベキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍」、「婚家ヲ去ル者ガ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並場所但シ實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所」ト云フモノヲ此離婚届書ニ書カシメテ、サウシテ戸籍上ノ處理ヲスルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、即チ離婚届ト云フモノガ前提ニ相成ッテ居リマスガ、王公家軌範ニ依リマスレバ、離婚ノ效力ヲ生ズルノニハ離婚届ト云フモノハナイ、即チ形式的離婚届ト云フモノヲ認メテ居ラナイノデアリマス、即チ形式要件トシテハ何モナイ、即チ勅許ガアレバソレデ以テ離婚ニナルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソコデ實體法ガ斯ノ如ク違フ、即チ形式ガ違フ、故ニ戸籍法ヲ以テ賄フト云フコトハ出来ナイト云フコトニ相成ルノデアリマス

○原委員 ソレカラ昨日モ御尋ネシタト思フノデスガ、此第一條ノ如キモノハ當然是ハ王公家軌範ノ中ニ規定スベキ實體的規定デアルノニ、玆ニ第一條ヲ規定シタル所以如何ト云フコトト、ソレカラ其他ノ條文デ實體法ニ屬スベキコトハ矢張同様ニ王公家軌範ニ之ヲ規定シテゴザイマス、届出ノ場合ダケハ一般臣民ノ戸籍法ヲ改正スルト云フ舉ニ出ヅル方ガ穩當ト思ハレルノデアリマス、ソレハ何トナレバ一體王公族デアアルガ故ニ特別ナ取扱ヲ受クルノデアアルケレドモ、併シ臣籍ニ一旦降レバ是ハモウ四海平等デ、少シモ差別ハナイ譯デアリマスカラサウスルト矢張法律系統ノ上カラ云フト、出来ルダケ斯ウ云フ特殊ナ法律ハ設ケナイデ、戸籍法デモ一部分改正スレバ當然斯ウ云フ場合ハ處理ガ出来ルモノト思フノデアリマスガ、ソレヲ特段ニ斯ウ云フ特別法ヲ設ケルト云フ趣意ハ、昨年吾々協賛ヲ與ヘタル王公族ノ權義ニ關スル委任ノ法律ノ趣意ヲ全ウスルモノデナイト思フノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○池田政府委員 一應御尤ノ御意見ト思ヒマスガ、立案者ノ方デ考ヘテ居リマス點ヲ申上ゲマスレバ、只今御引キニナリマシタ大正十五年ノ法律第八十三號ニ於キマシテ、王族及公族ノ權義即チ權利義務ニ關シテハ皇室令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得ル、王族又ハ公族ト一般臣民トニ互ル、即チ交渉ガアル——互ル事項ニシテ云々、是モ亦前項ノ規定ニ依ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、即チ此十五年ノ法律第八十三號ニ行ッテ皇室令ニ據ラレテ居リマス範圍ハ、王族公族ノ權利義

務ニ關スルコト、竝王族公族ト一般臣民トニ交渉アルコトヲ、各其適用ヲ受クベキ法律ヲ規定シテ居ル、斯ウ云フモノニ限ラレテ居ル、ヤウニ解釋ヲ致スノデアリマス、ソコデ其頭ヲ以テマシテ今此一條ニ規定シテ居リマス事柄ヲ見マス、即チ王族デアラセラレマシテモ、一旦婚姻若クハ養子縁組ニ依テ内地ノ下籍ニ入ラレマシタ場合ニ於キマシテハ、即チ一般臣民ノ籍ニ入ラレル、即チ王公族ノ籍ヲ出デラレルト云フコトニナルノデアリマス、離レルコトニ相成ルノデアリマス、ソコデ其養子縁組若クハ婚家ノ此手續ハ、無論王公族トシテナサルコトデアリマスカラ、王公族軌範ニ規定セラレテアリマスケレドモ、其後即チ其婚姻若クハ養子縁組ニ付テ或ハ離婚ヲスルトカ離縁ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、全ク民法ノ支配ヲ受ケルト云フコトハ、今原委員ノ仰セニナッタ通りデアリマス、デアリマスカラ其離婚若クハ離縁ノ手續若クハ效力ヲ定メルコトハ、

○原委員 私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス
○神村委員長代理 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後零時十一分散會

シ、又王公族ト一般臣民ニ互ル事項デモナイ、即チ一般臣民限リノ事柄デアリマスカラ十五年法律第八十三號ノ範圍ニ屬シナイモノデアルト云フコトニ解釋致シテ居ル次第デアリマス、而シテ是ハ民法事項デアリマスカラ、法律ヲ以テ定メル方が至當デアラウト云フ點カラ掲ゲマシタ次第デゴザイマス

昭和二年三月十七日印刷

昭和二年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社